

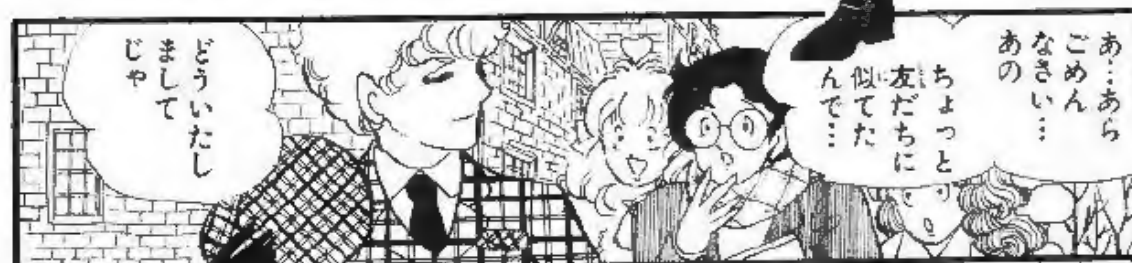
エデイス

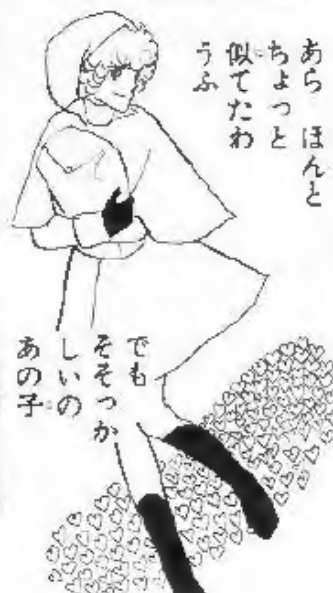
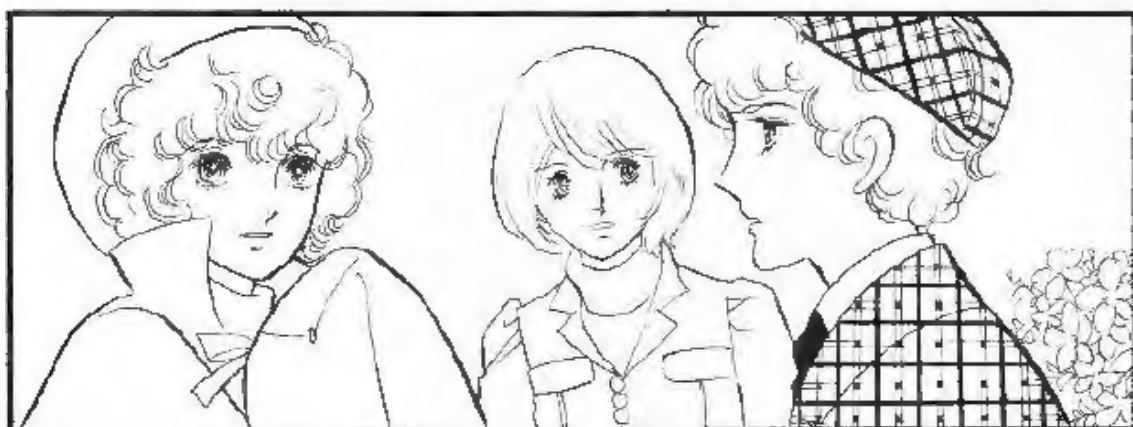


時の輪よ
めぐりめぐれ
生命のふたたび
生まれるまでに

時の風よ
といきよ夢よ
走り 走れ
輝きのいまだ
見えぬ地平へ

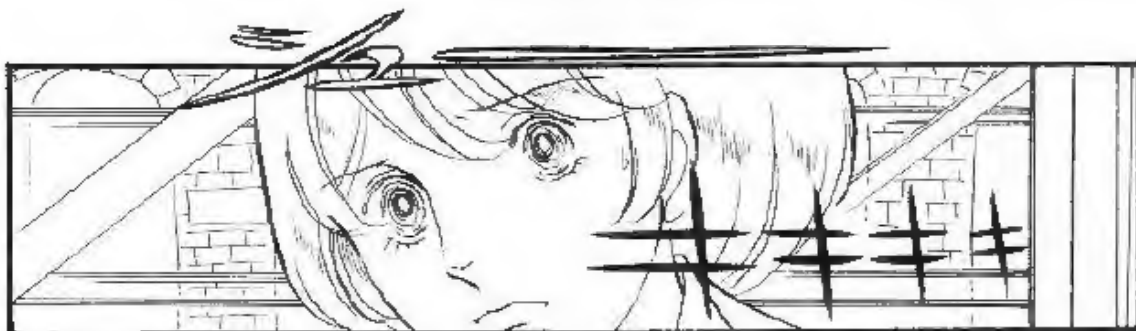






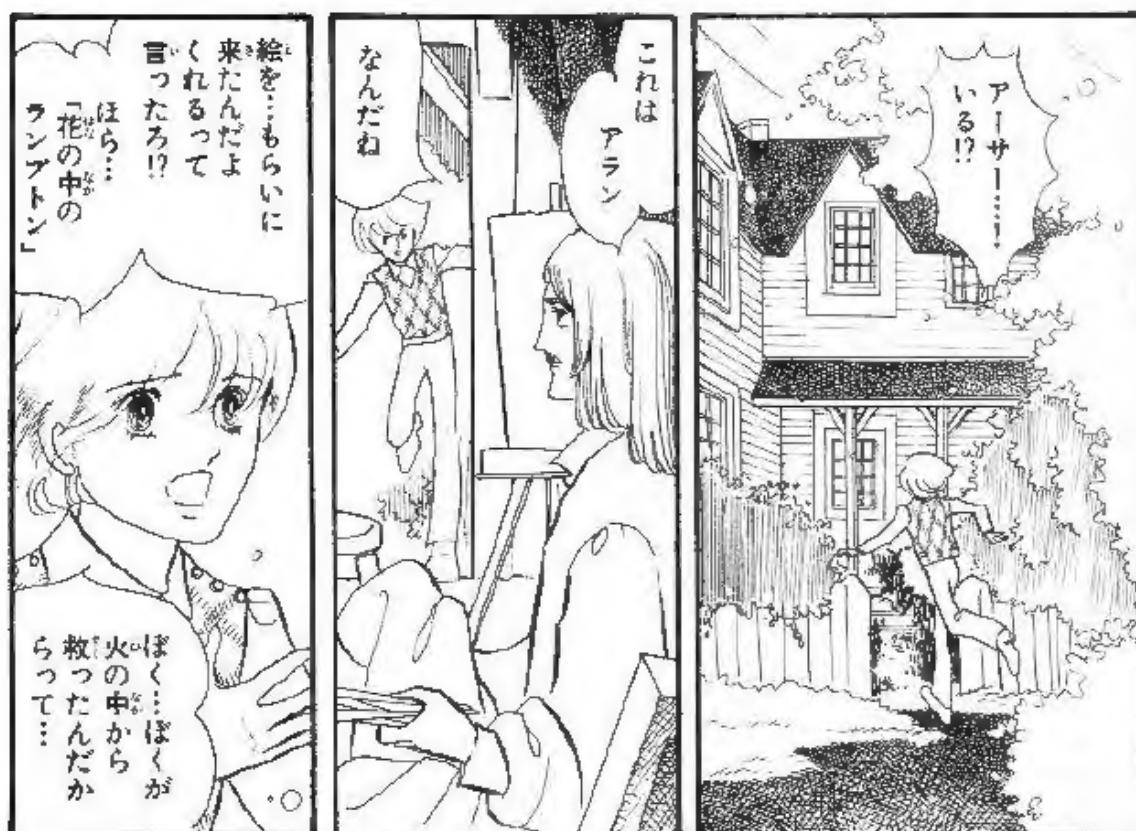






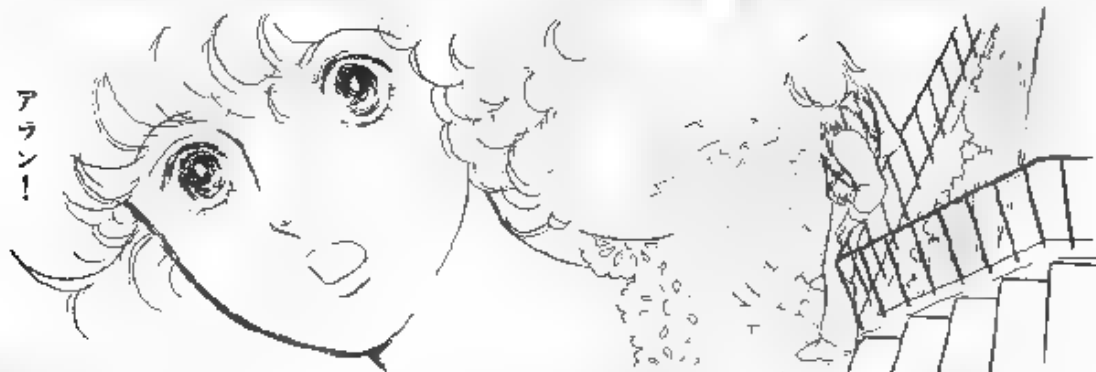


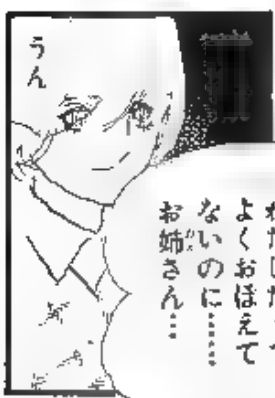


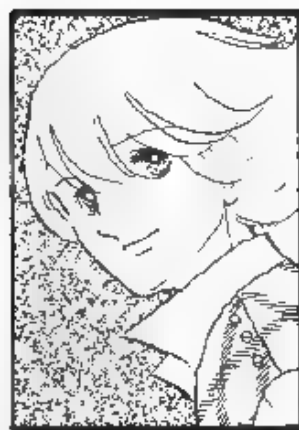


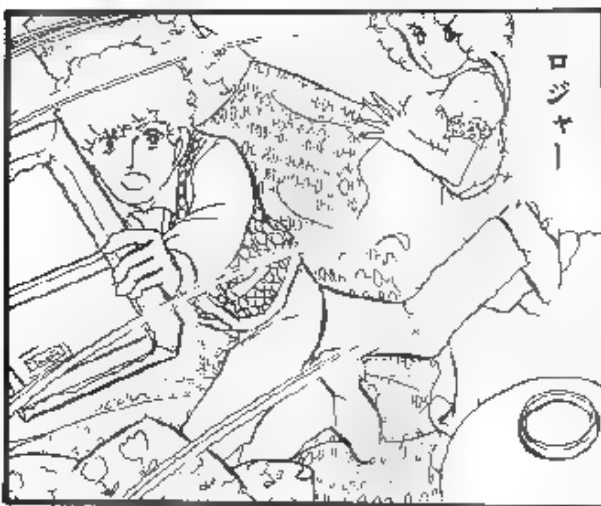


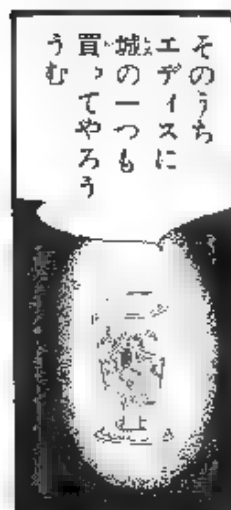


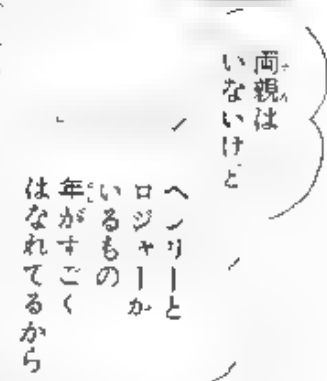
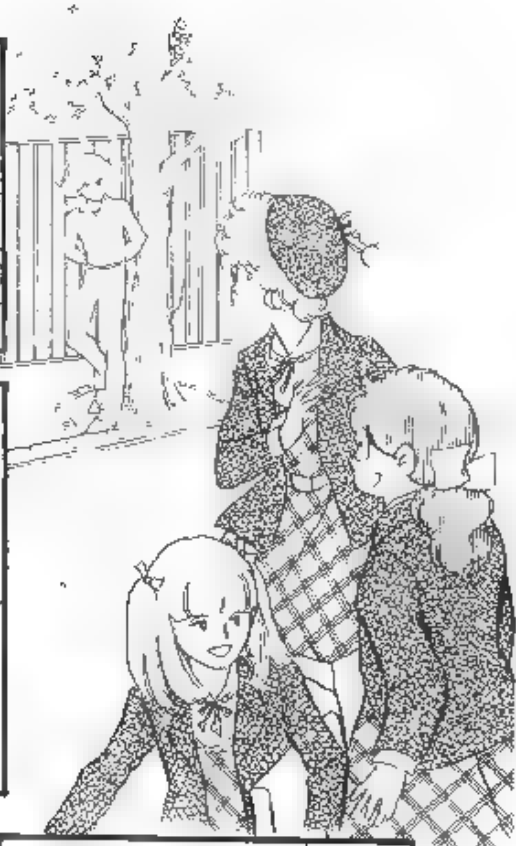
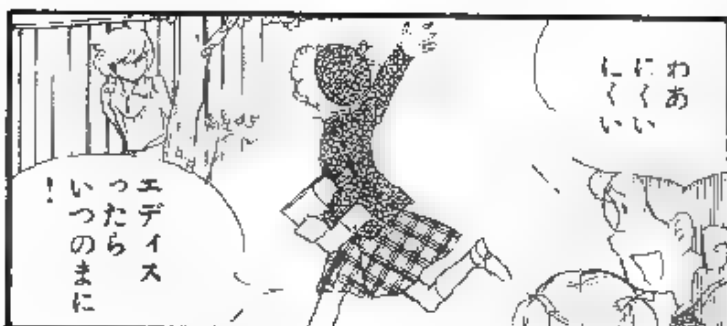


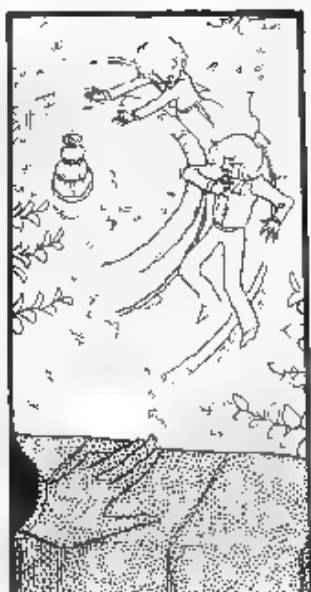
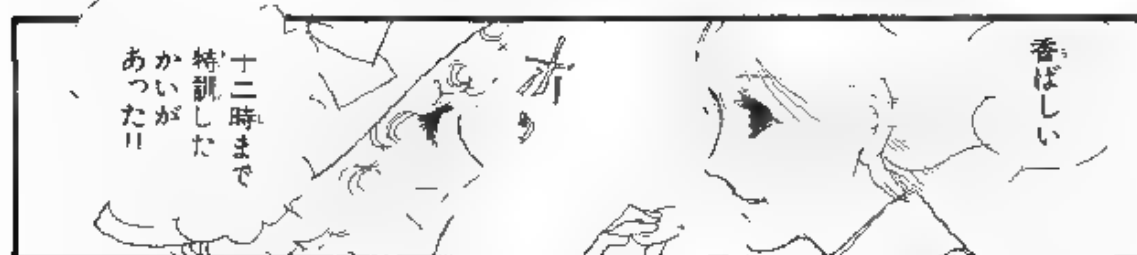
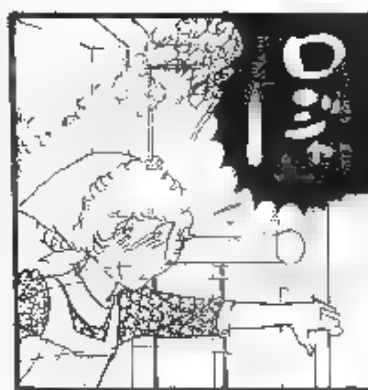
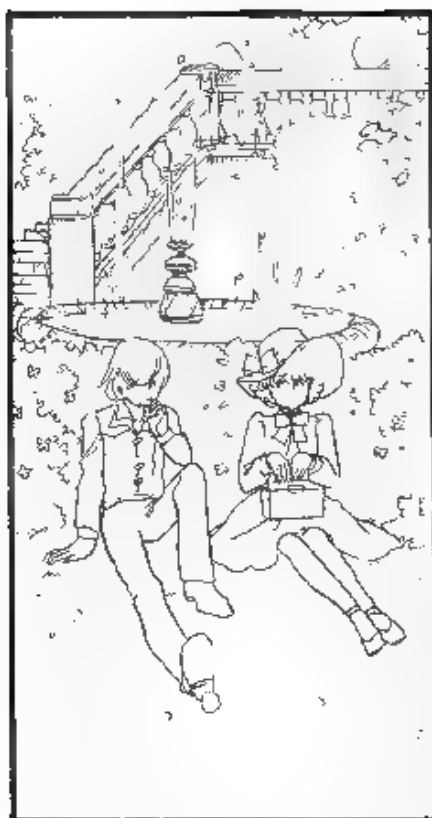












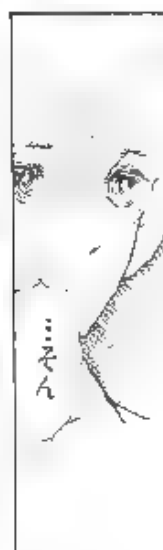
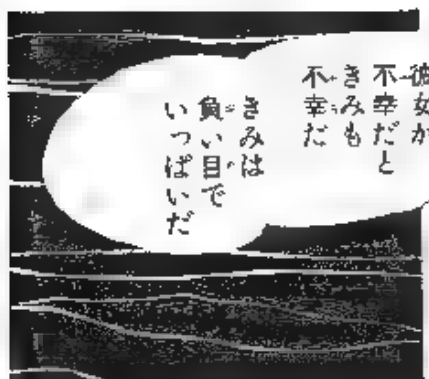




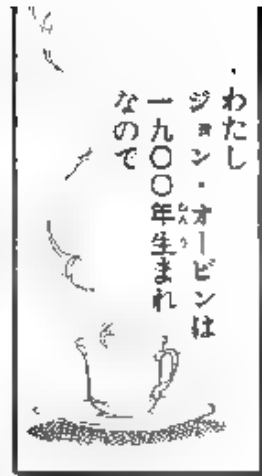
あの子といると
楽しいんだもの…

あの子
明るくて…

あの子が幸せなふうだと
ぼくも幸せに
なるんだもの







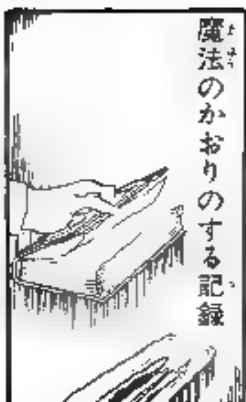
わたし
ジョン・オービンは
一九〇〇年生まれ
なので



二十世紀の
明けそめと同時に
年をとり
始め



当年七十六歳

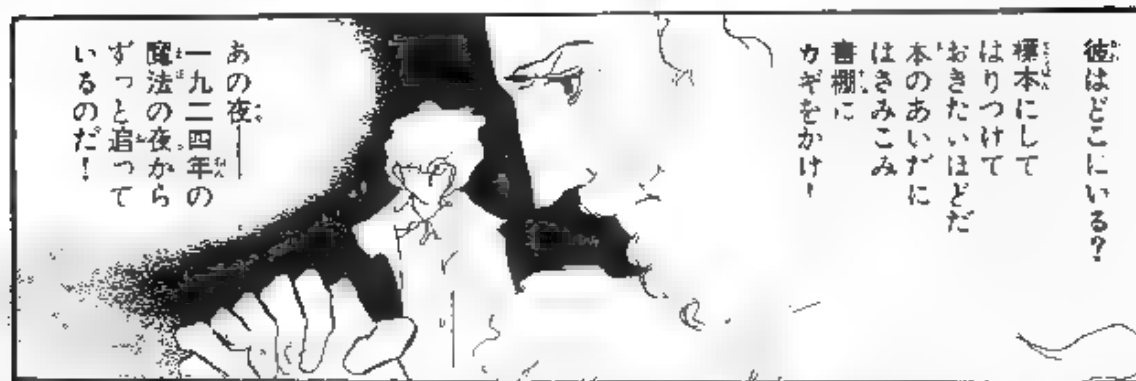


魔法のかおりのする記録



彼らに關しての

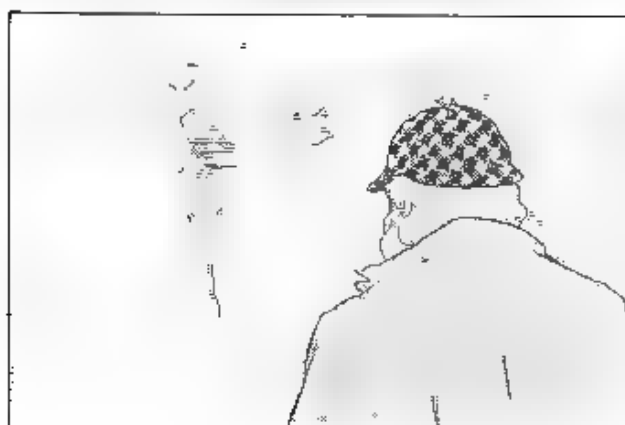
ガブリエル
高等中学校への
転入記帳
燃えてしまった
ランプトンの絵
リデル老婦人の話
マーシャルの話 テオの話
エヴァンズの遺書……

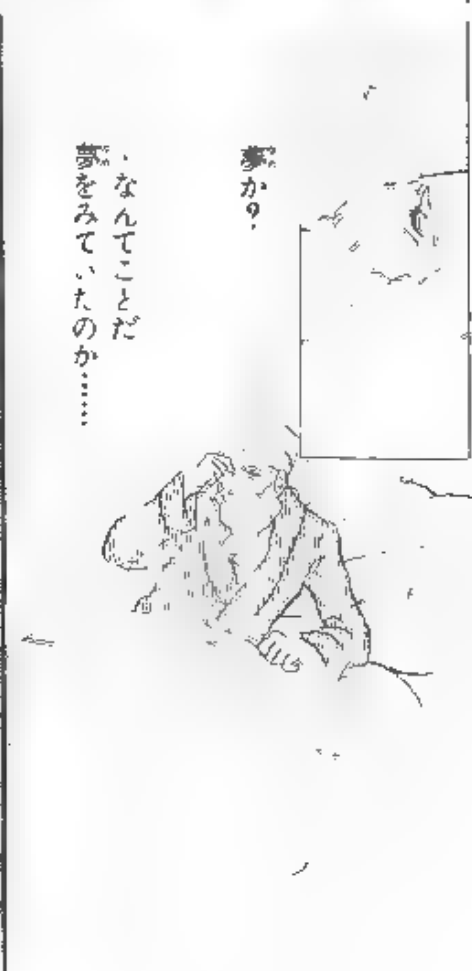
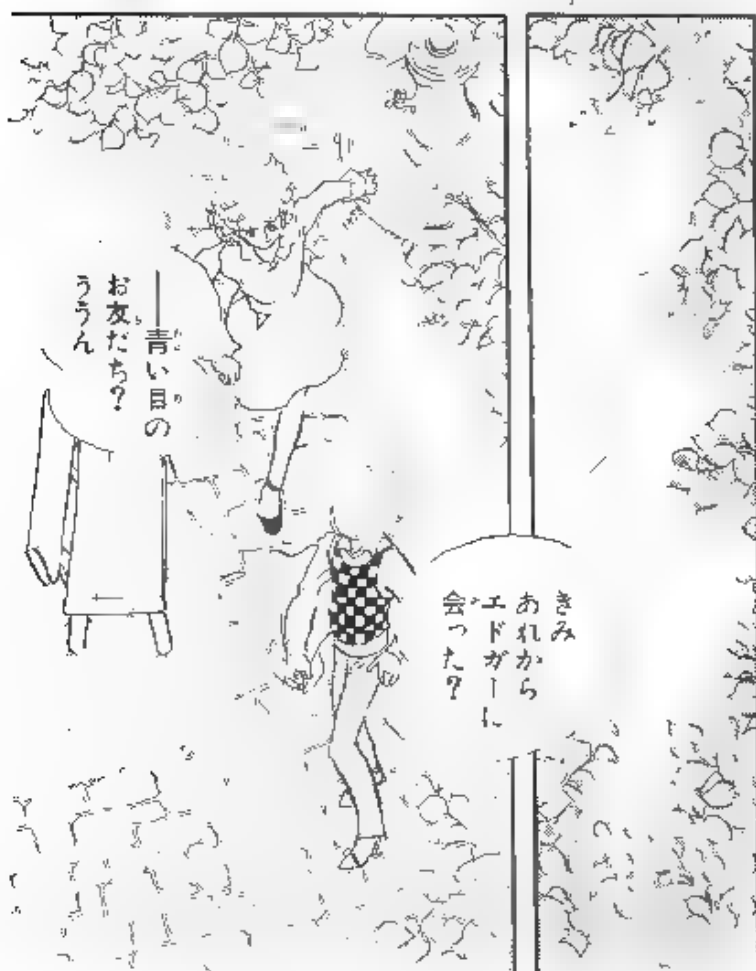
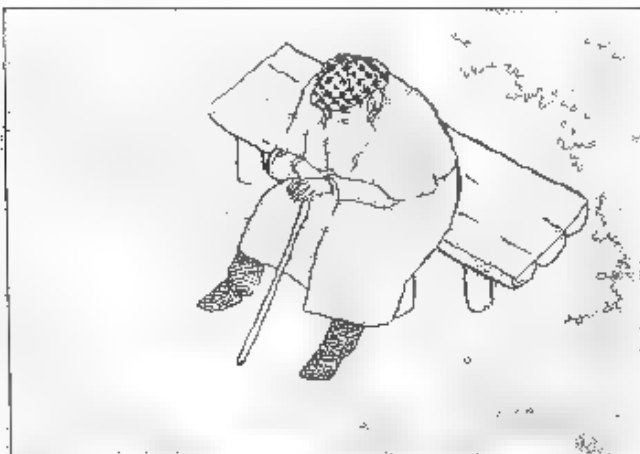


彼はどこにいる？
標本にして
はりつけて
おきたいほどだ
本のあいだに
はさみこみ
書棚に
ウギをかけ！

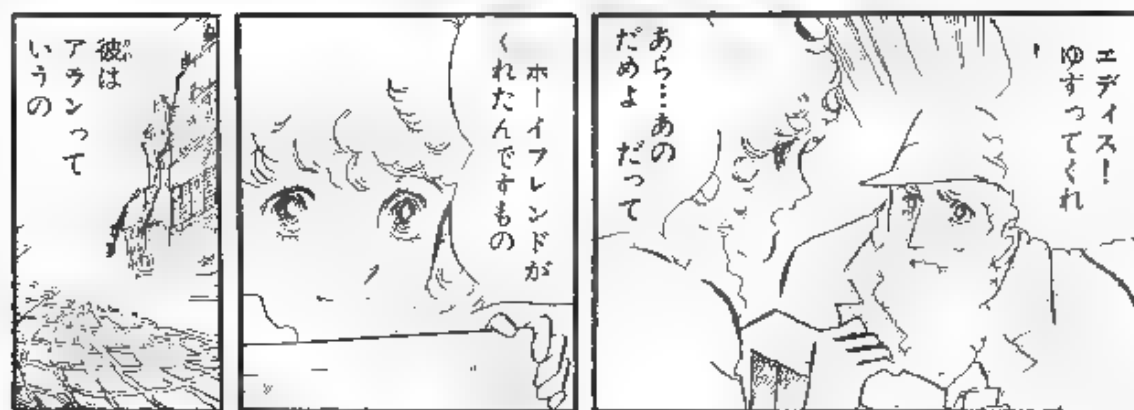
あの夜
一九二四年の
魔法の夜から
ずっと追って
いるのだ！

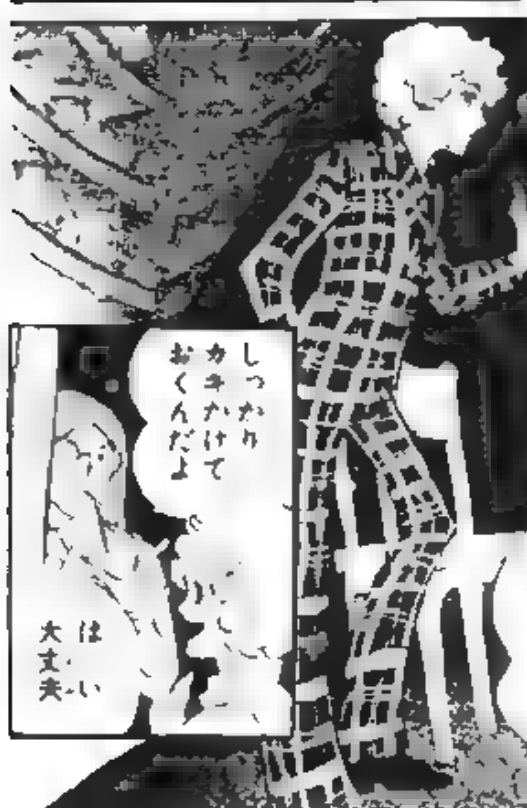
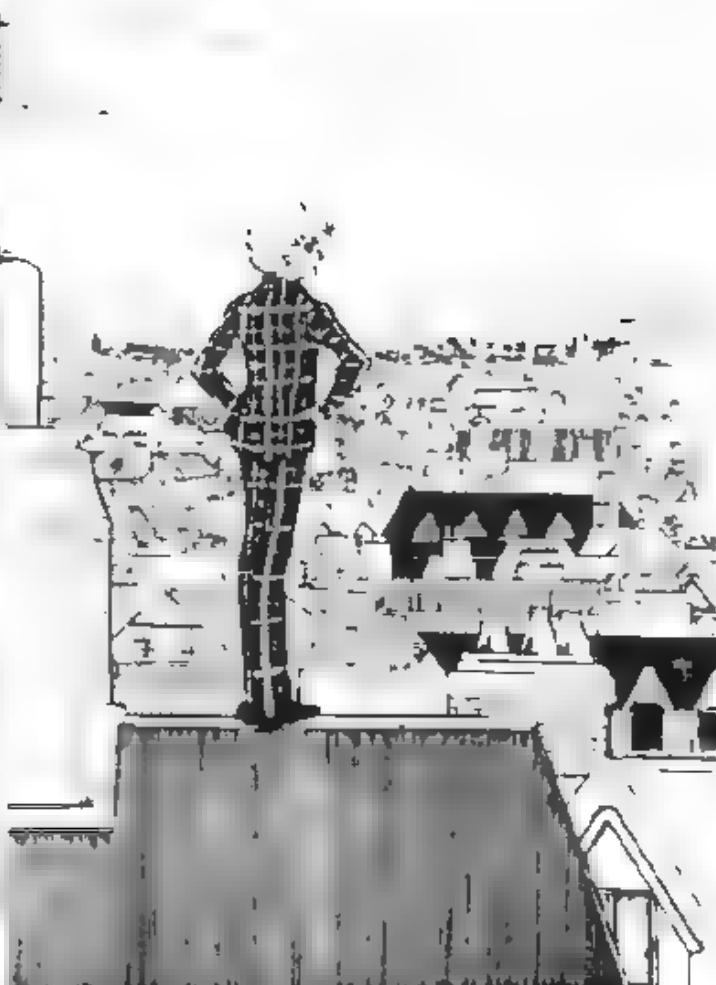
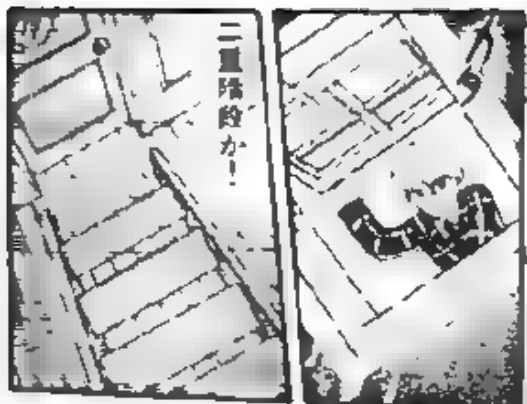


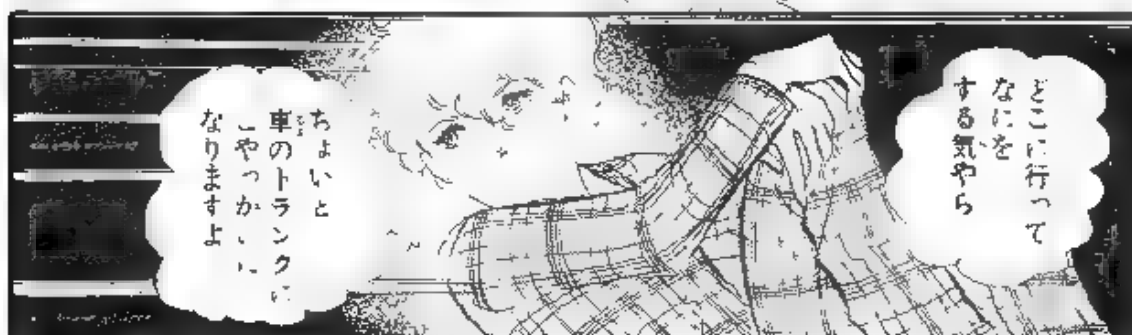


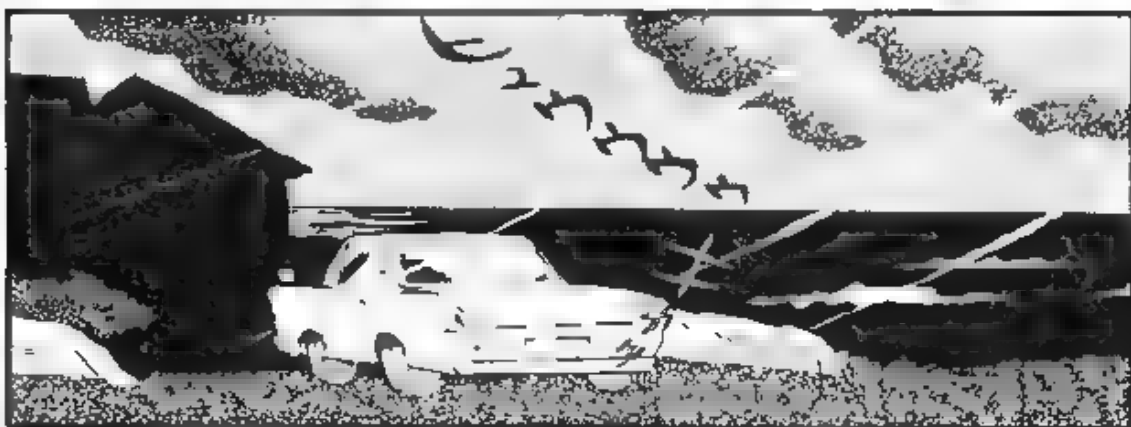


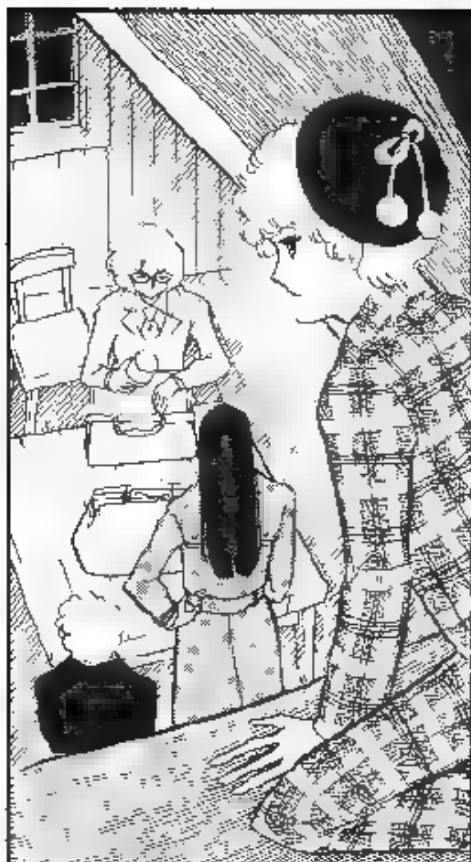












知らないわ
わたしの役目は
カバンを
こうかん
することよ

ポビー?

ポビーはどうした
いつもはヤツが
来るんだが



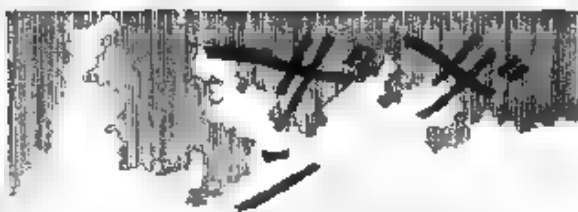
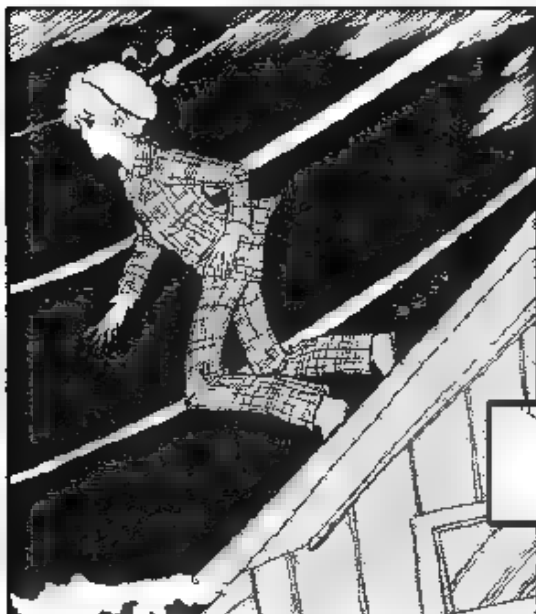
指が
ふるえてる
じゃないか
この女

なんか
しろうと
くさいな



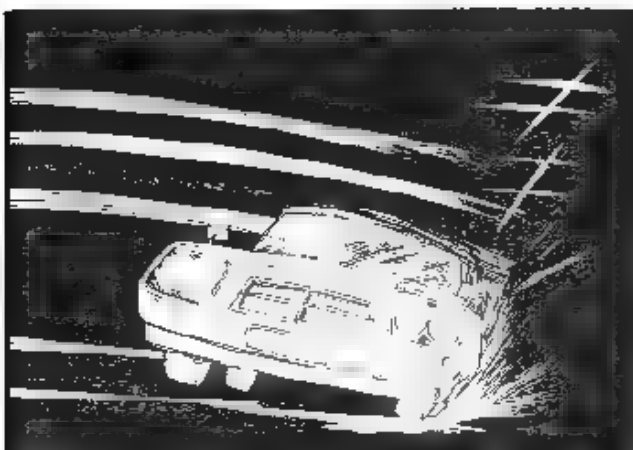
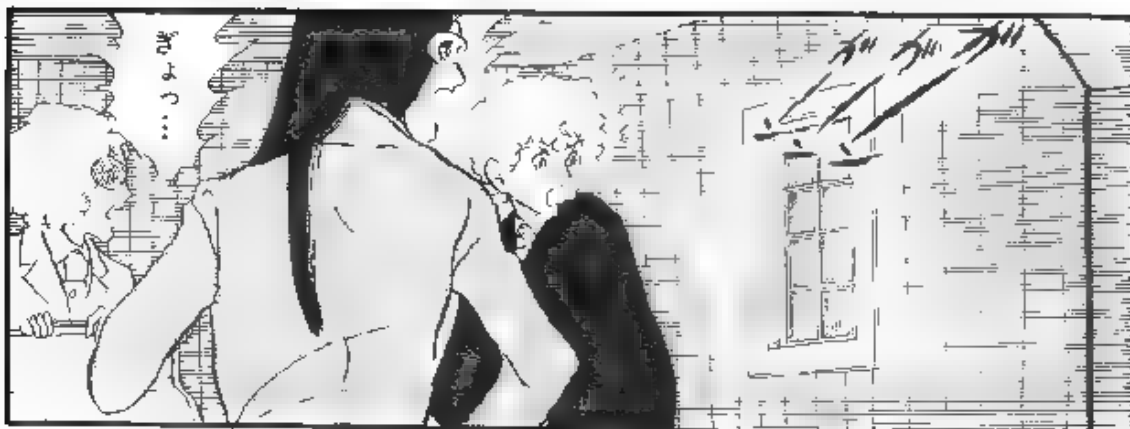
ぼくの
子孫しや
このていど

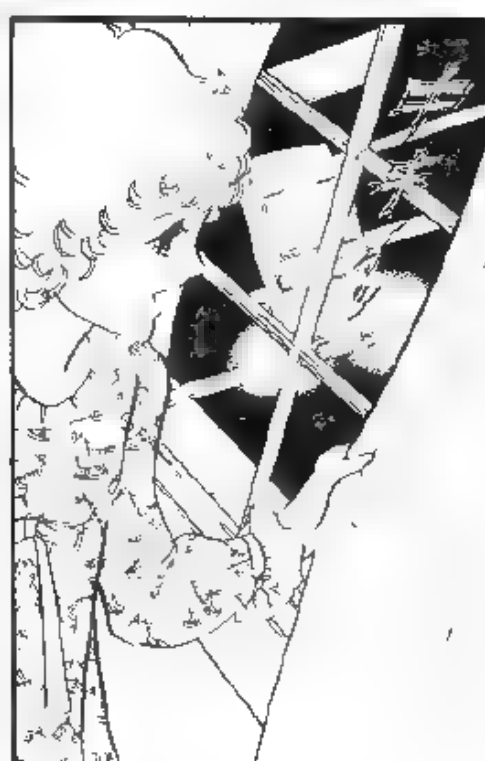
盗品
売買って
とこか
ケチな
ことして
かせいでる
もんだ



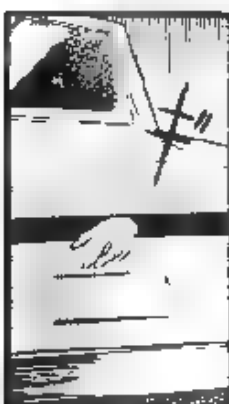
人声
がする

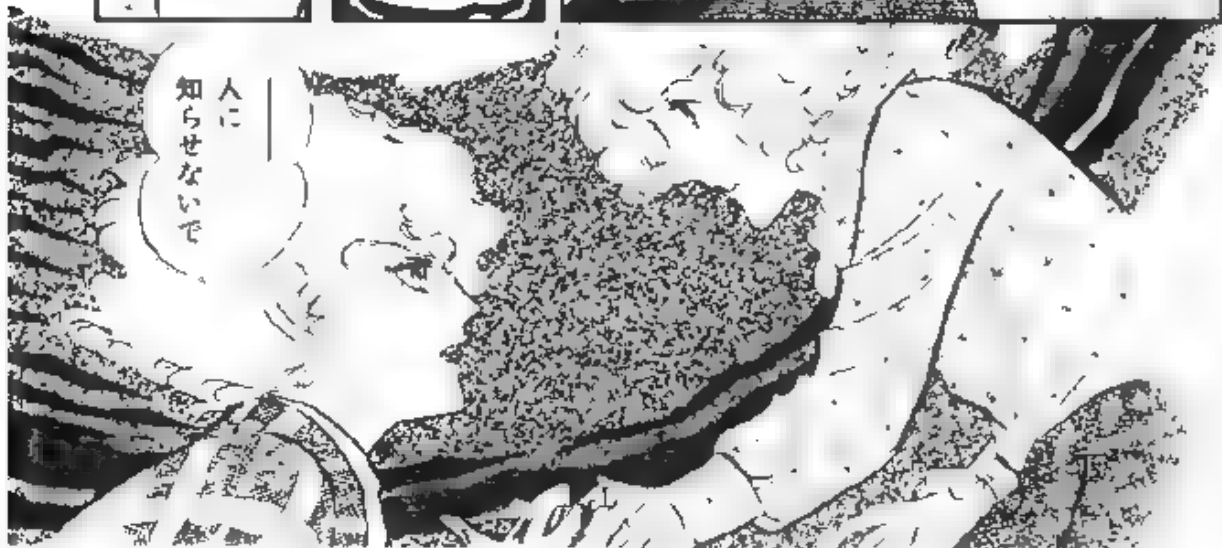
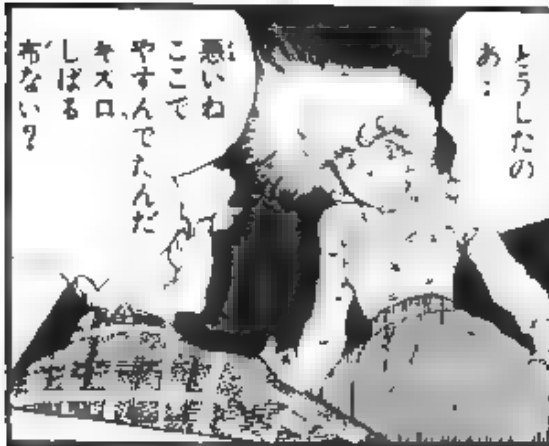


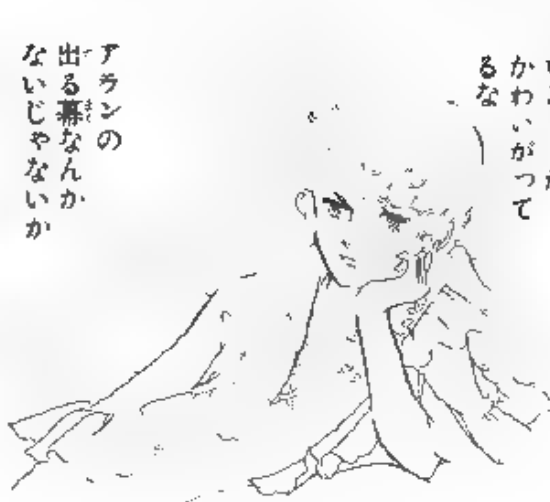
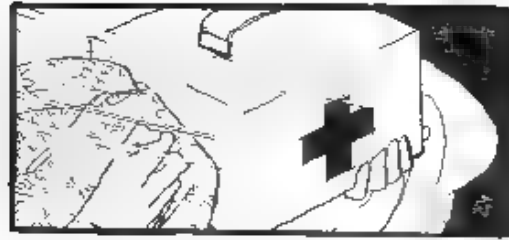








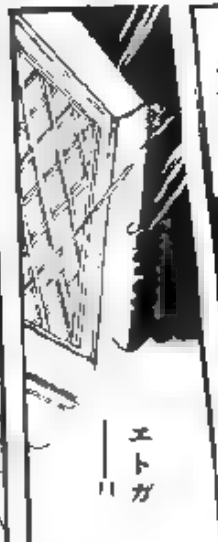














これがエヴァンズの
残した遺書だよ

ほかにもいろいろ
あったが火事で
焼けてね

おケガが
ひどくなくて
よかったわ

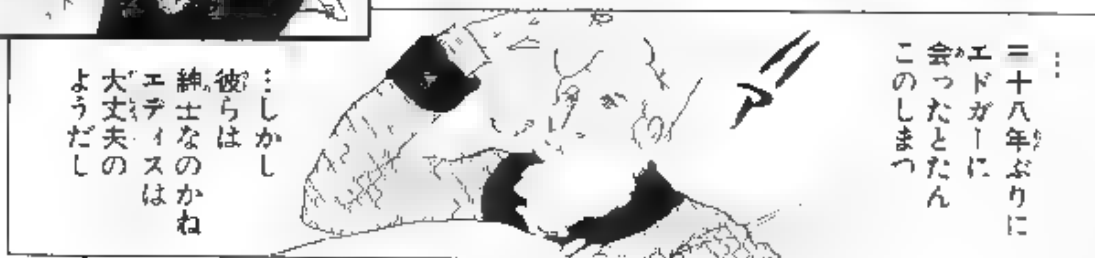
聞いてますよ
わたしだから
エドガーのぶん
もあやまりに
来たのよ
でもわたしの
お友だちを
怪物あつかい
しないで



エデイス
わたしの話を
聞いてらんね



オービンさんて
夢想家ね
子どもみたい
ですって?



……
三十八年ぶりに
エドガーに
会ったとたん
このしまつ

……しかし
彼らは
紳士なのかね
エデイスは
大丈夫の
ようだし

止まっている……

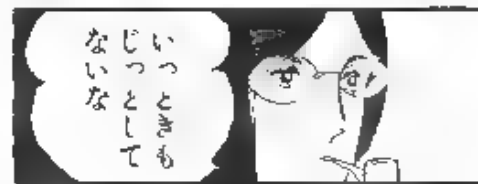
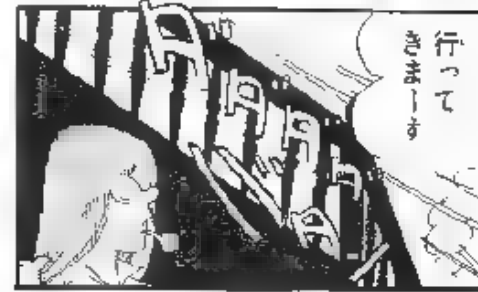
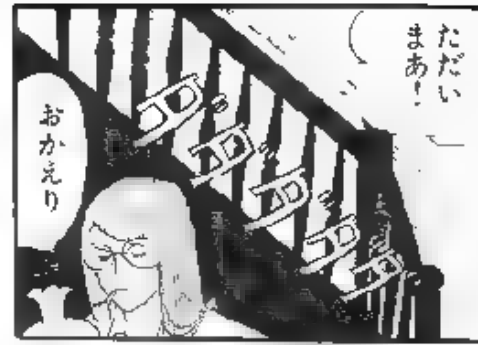


時が……

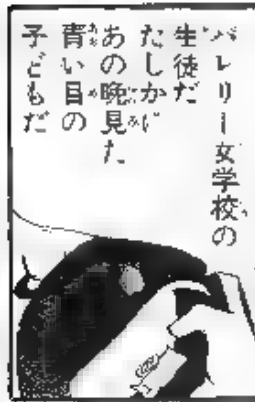


まったく年を
とった……年をとった





だってまる二日アランに会ってないんですもの
あんなことがあって
エドガーのケガ
どうなった
かしら











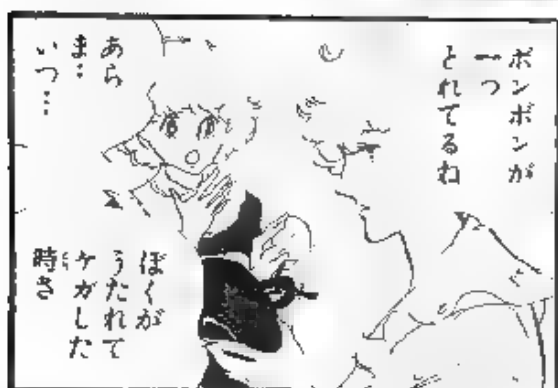
な
お
っ
た
よ
の
そ
の
帽
子
見
せ
て
ご
ら
ん

あ
な
た
ケ
ガ
は
？
ケ
ガ
！



エ
ド
ガ
ー
！
エ
デ
イ
ス
つ
れ
て
来
た
よ
へ
ん
な
ヤ
ン
に
追
っ
か
け
ら
れ
た
ん
だ
っ
て
！

エ
ド
ガ
ー
！



ポ
ン
ポ
ン
が
一
つ
と
れ
て
る
わ

あ
ら
ま
ま
！
ほ
く
が
う
た
れ
て
ケ
ガ
し
た
時
さ



— 二日まえ
言
っ
て
た
ろ
ニ
ュ
ー
ス
で
マ
ー
ケ
ー
ト
近
く
の
身
元
不
明
殺
人
事
件
犯
人
の
顔
見
た
ん
だ
よ



た
い
へ
ん
な
の
は
き
み
さ

あ
な
た
警
察
へ
行
か
な
さ
や
！
た
い
へ
ん
よ
！

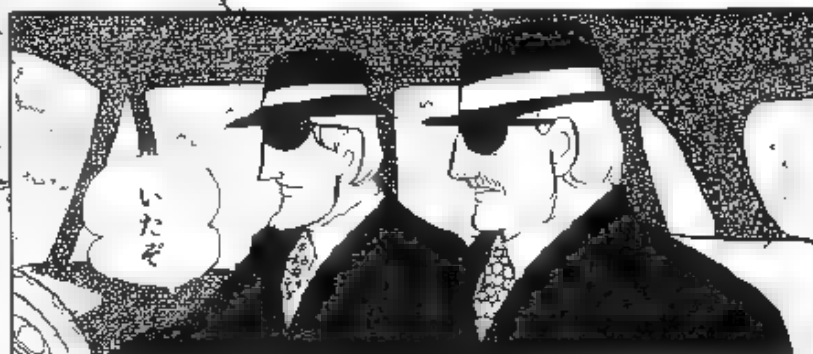
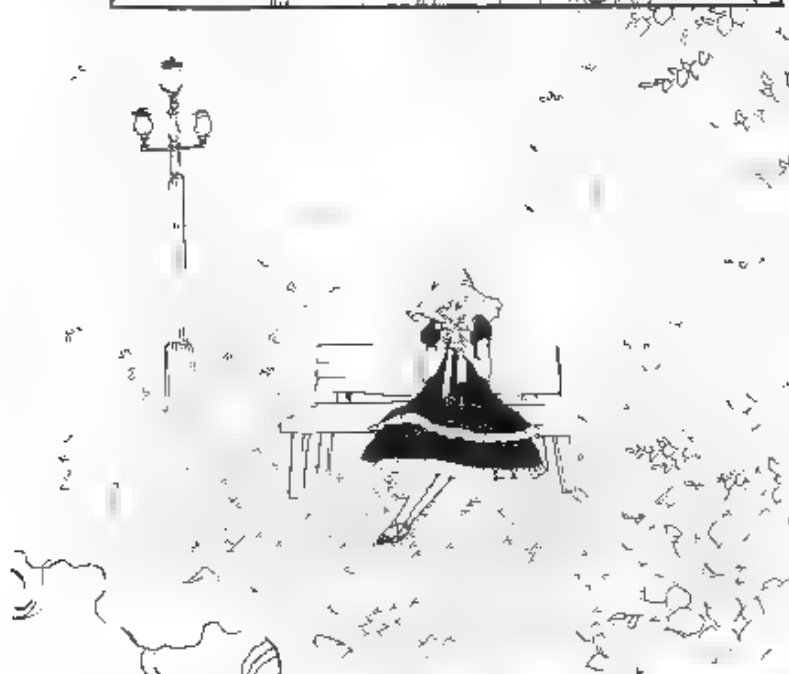
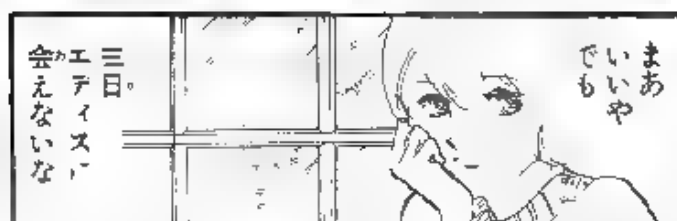
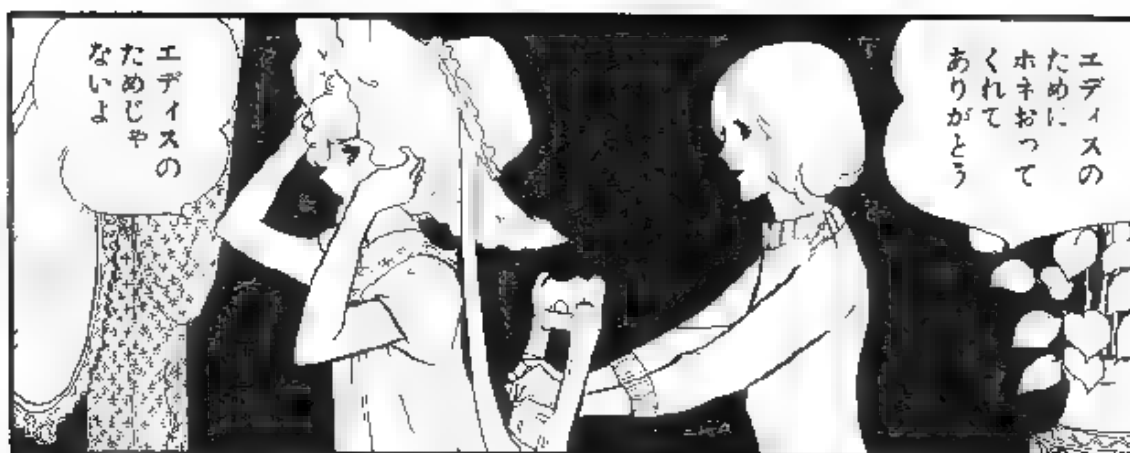


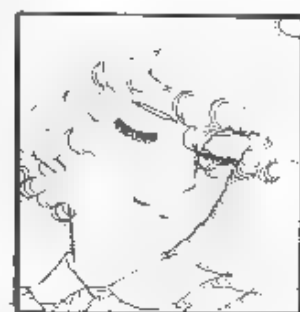
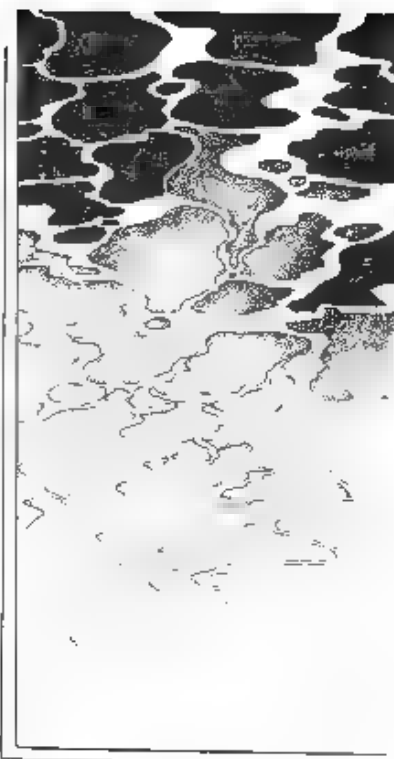
エ
ド
ガ
ー
！
そ
れ
で
ケ
ガ
！

あ
ー
な
ん
で
そ
ん
な
殺
人
現
場
な
ん
か
目
撃
し
た
ん
だ
よ
し
ょ
う
も
な
い





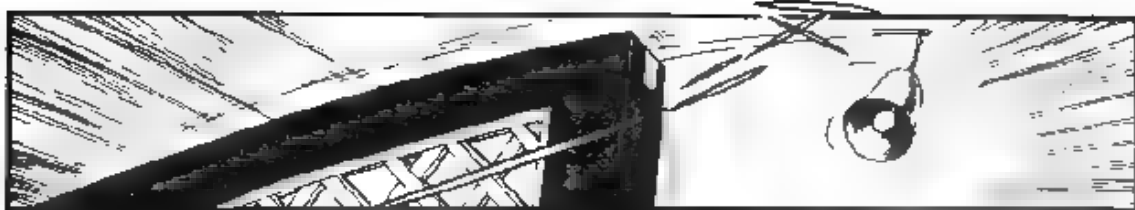


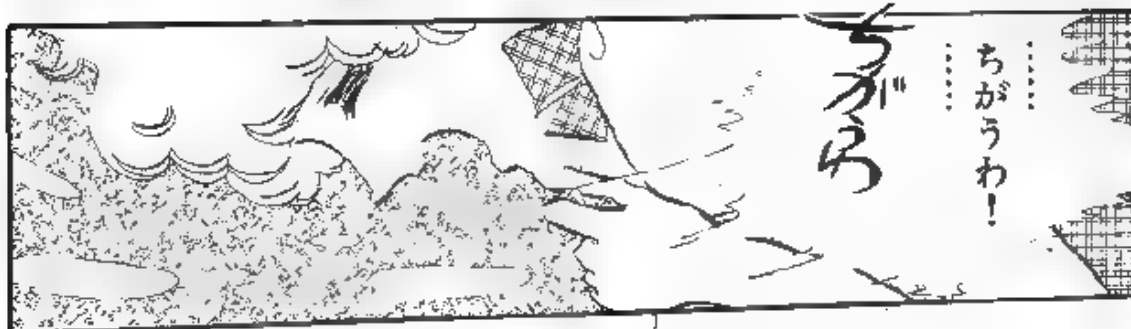














アラン！
エドガー！



どこだっけ？
あの入り口

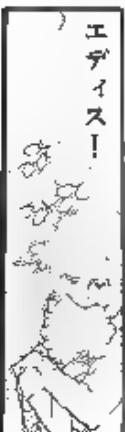


警察の人が
おおい来て
兄さんたちを
つれてったの

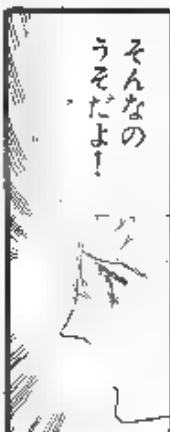
泣いてちゃ
わからないよ
どうしたの



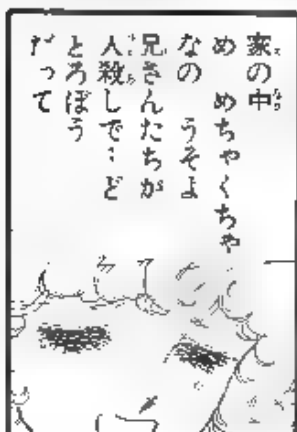
エディスII
エディスII



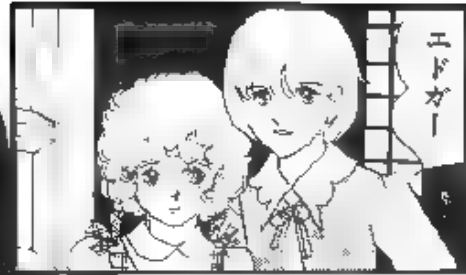
エディス！



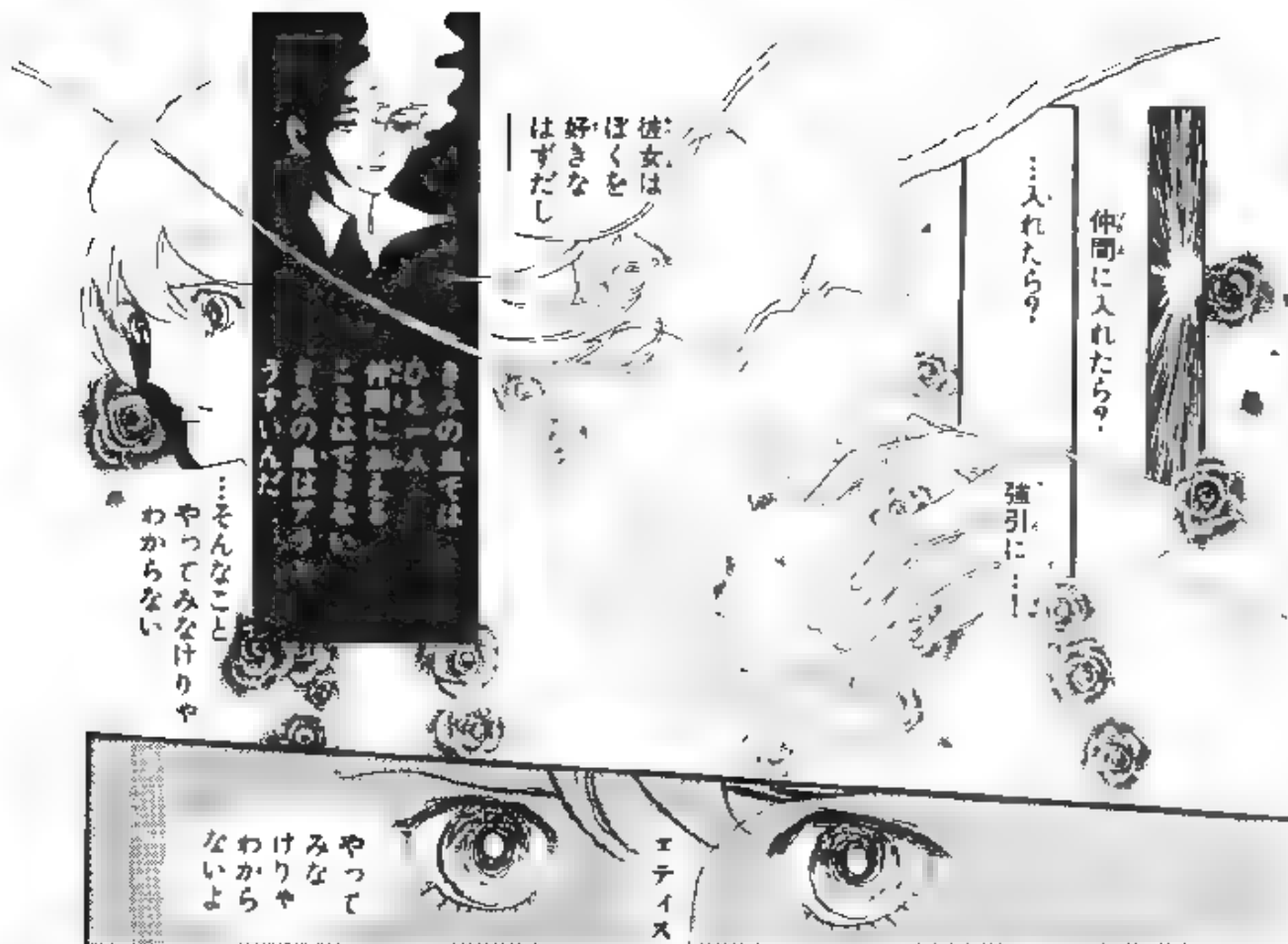
そんなの
うそだよ！



家の中
めめちやくちや
なのうそよ
兄さんたちが
人殺しでど
ころほう
だって











アランワ

ロジャーより
ヘンリーより
きみを
壁して
あげるよ
だから
行こうよ
おいで



はなして

兄さんたちの
ことなんか
忘れてさ

アラン
いや?



アラン?

ほくと
おいでよ...
ほくや
エドガーと
...

そりやあ
楽しいよ

いろいろな
ところに
行けるし

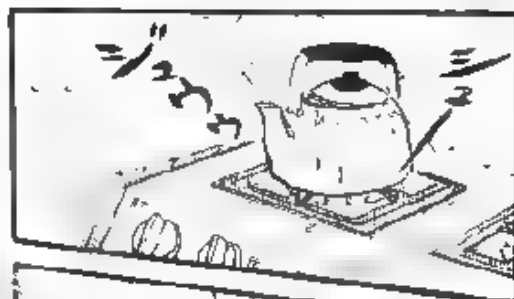
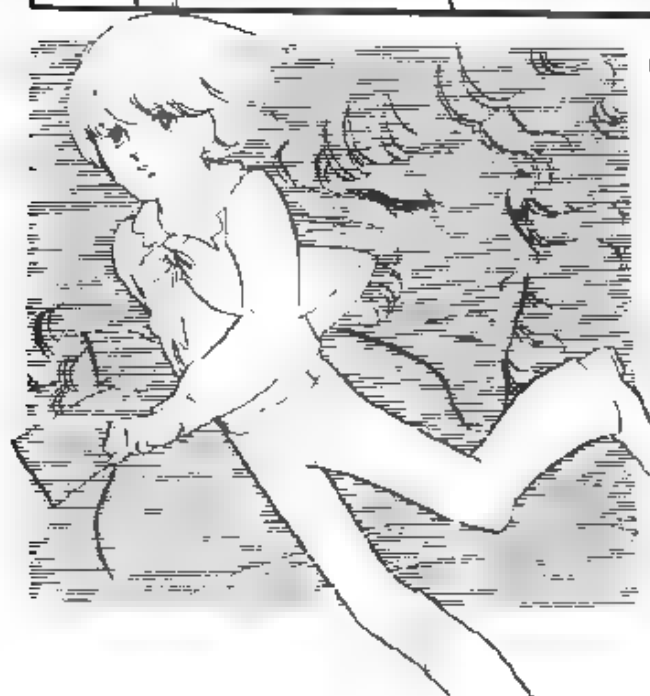
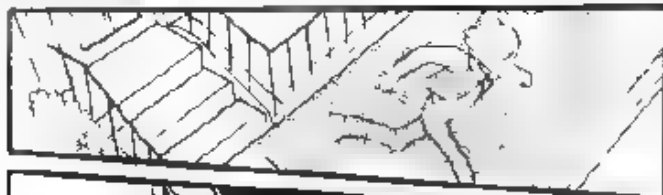
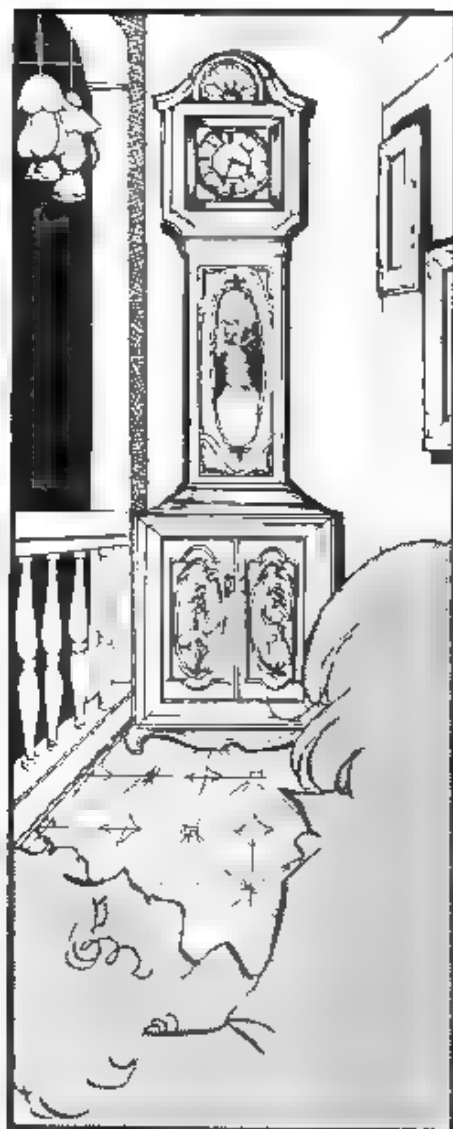
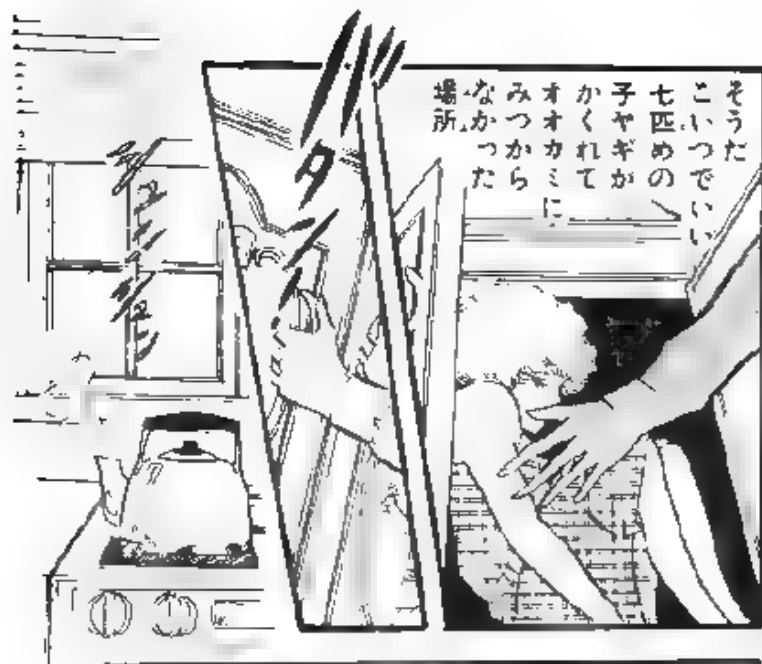
いつまでだって
生きてられる



忘れるの
いいや

やはり...
あとは
エドガーに
まかせたい
ほうがいい
呼んで
くるまで

ネデイスを
おぼしておく場所





エデイスに
なにかしたの
か？

：気絶させ
ただけ

仲間

アラ
ン

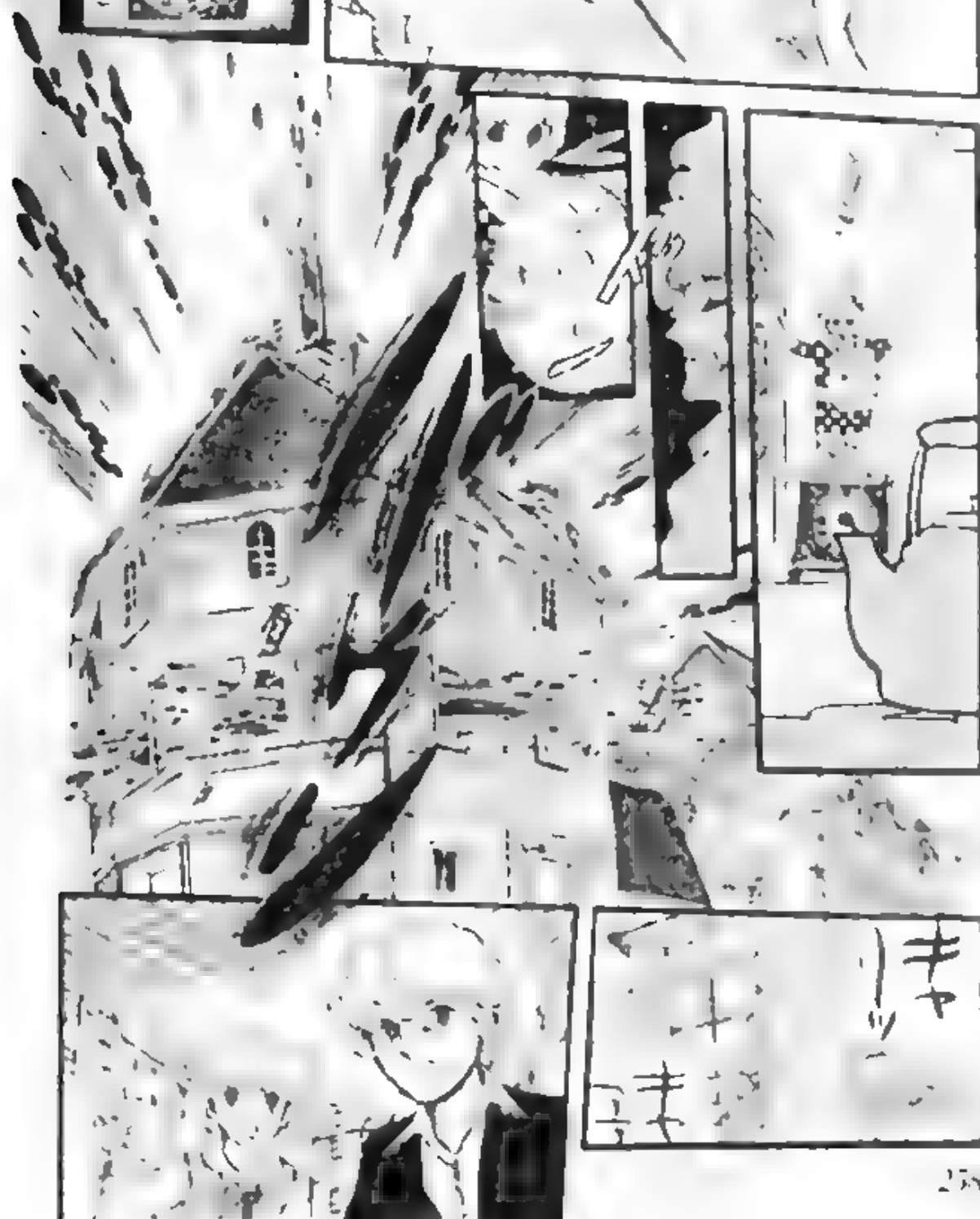
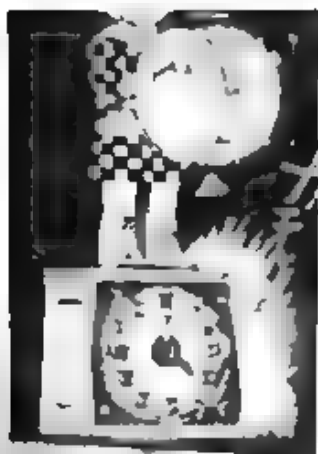


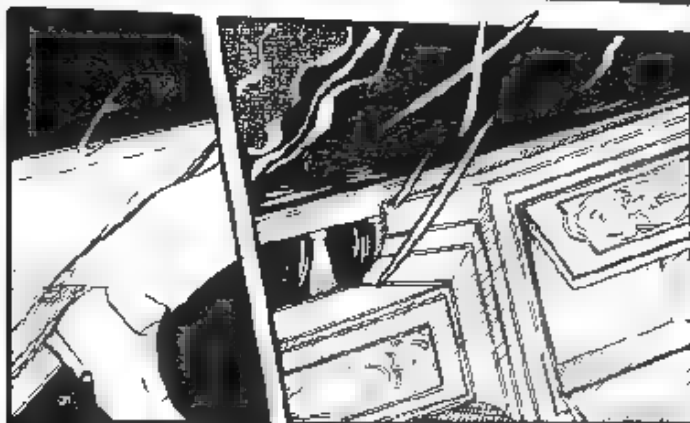
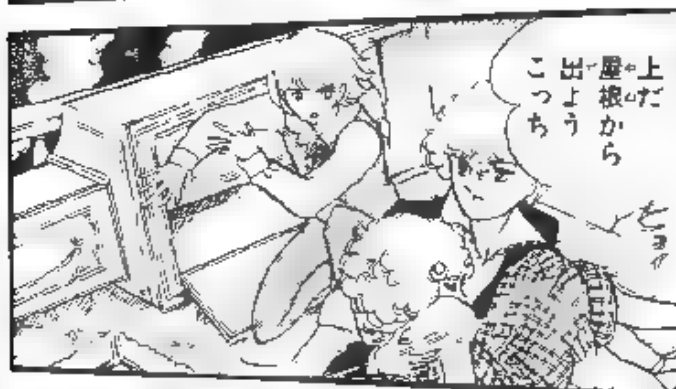
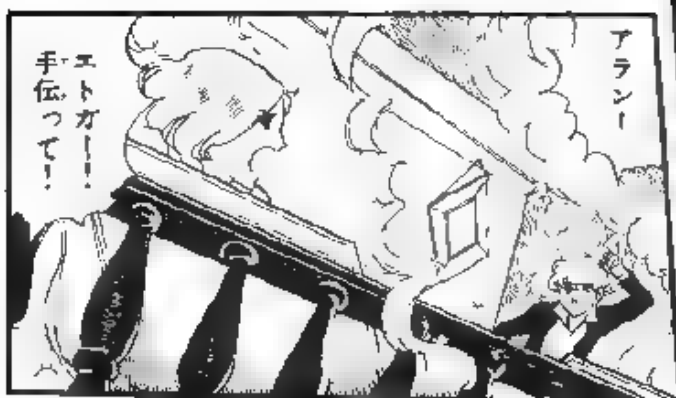
ほくは
エデイスが
好きだ
エデイスも

きみは
エデイスなんか
好きじゃ
ないんだ！！











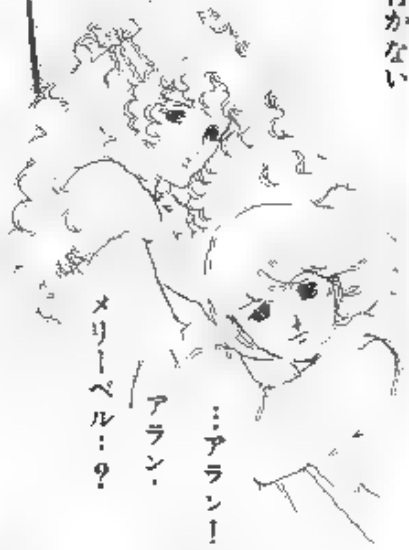




昔々の
幸せ

メリーベル...

シーラ



メリーベル...?

アラン...

...アラン!

もう明日へは行かない

帰る
帰る

アラン!

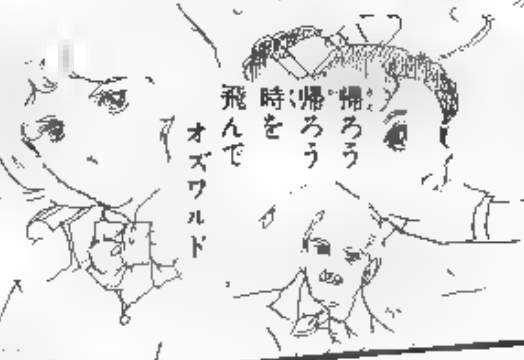
アラン...



みんな
みんな
アハハ

お母さん

アハハ



帰ろう
帰ろう
時を
飛んで
オズワルド

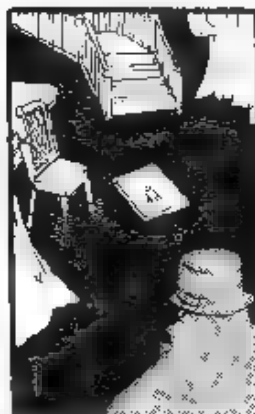
みんな
みんな

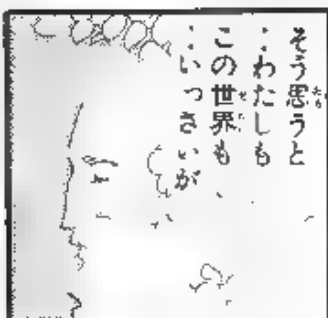
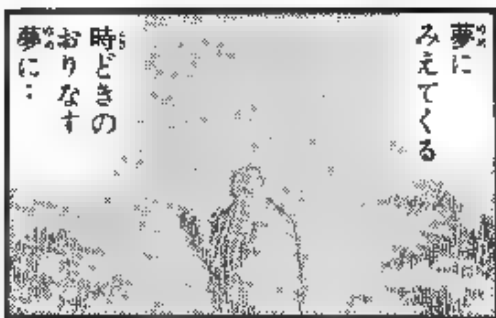
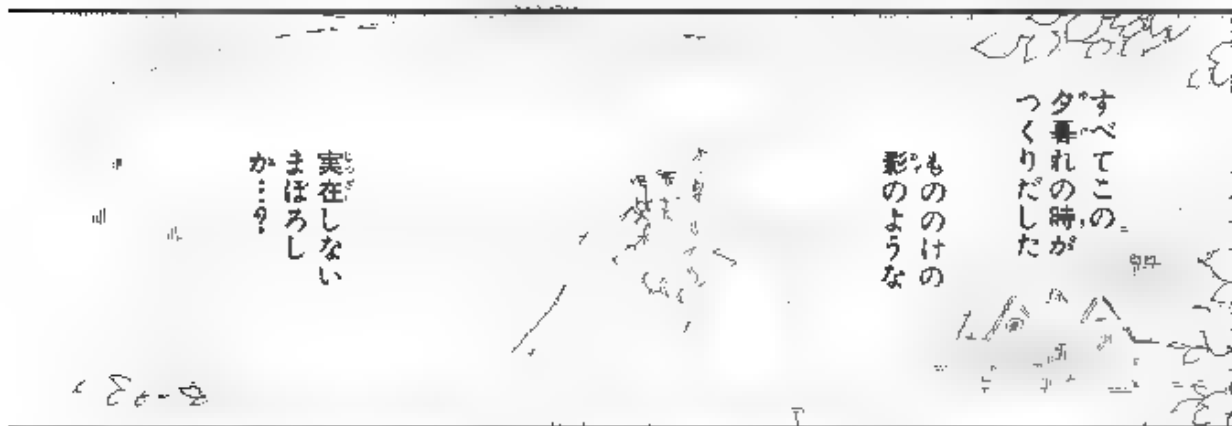
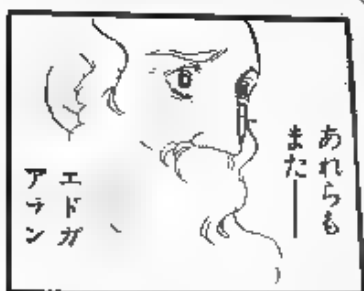
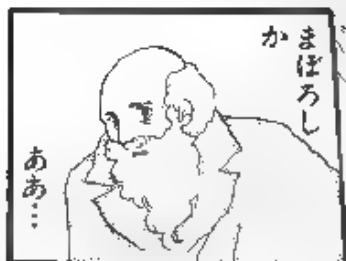
アラン...

アハハ









なんの不思議も
なかったのかも
しれない……

ルイスやテオや
リデルが会った少年は
ただのふつうの少年で
あったかもしれない

それは
エドガーでは
なかったのかも
しれない

彼は
いなかったのかも
しれないのだ

小さい
少年は
いた

わたしたちは
彼の姿
彼の声

いたとも
……わたしは
知っている

時の
はざまを
影かける

それは
この夕暮れに
よく似た
銀色の
世界

彼の生まれた
朝すら思い
浮かぶ

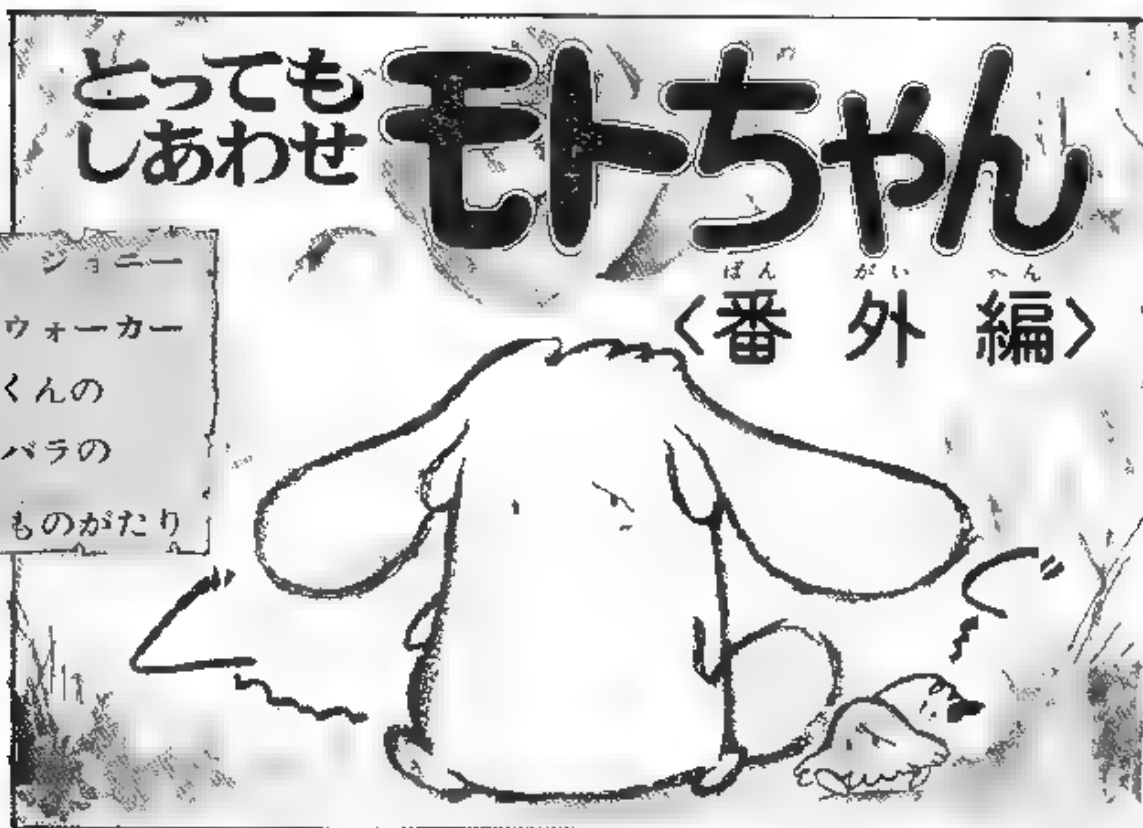
そうだ
……わたしは
彼の話を
かくこと
できる

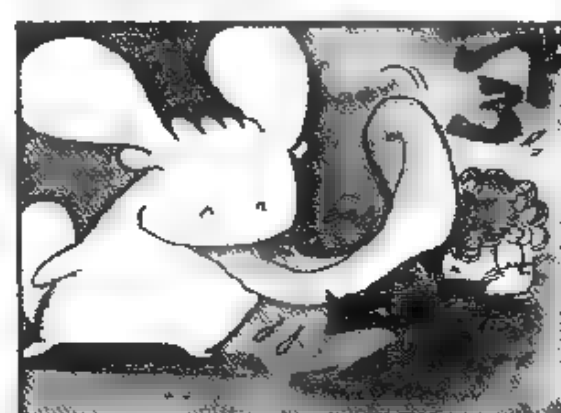
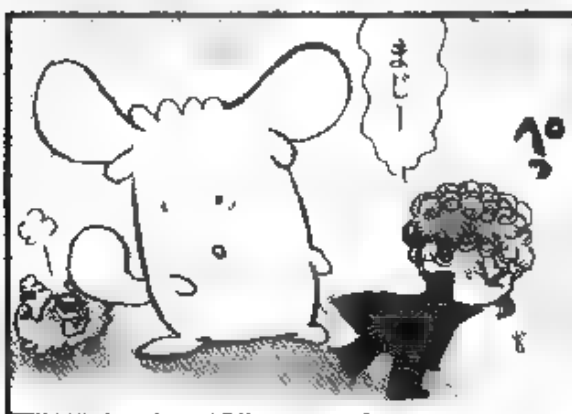
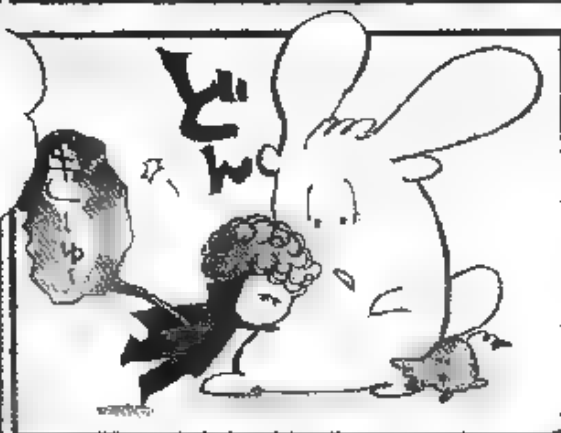
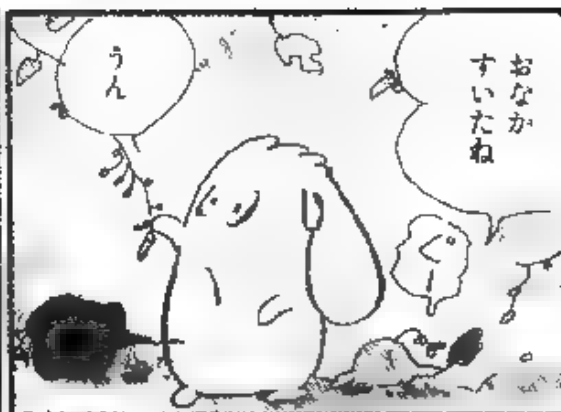


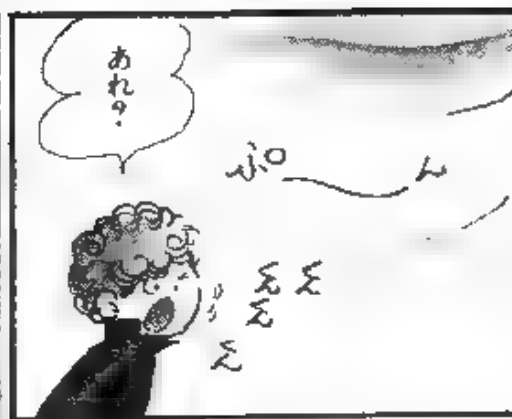
エドガーおまえに
わたしのはるかおまえに
そしてそのボーの
一族によせて——と













あつちは
シニア 一世
こっちは
シニア 一世

ハンパネラって
こんなもんだと
思ってたけど

悪態って
いってね
悪いことの
もとみない
なものね
いわは

ハンパネラっ
てなに

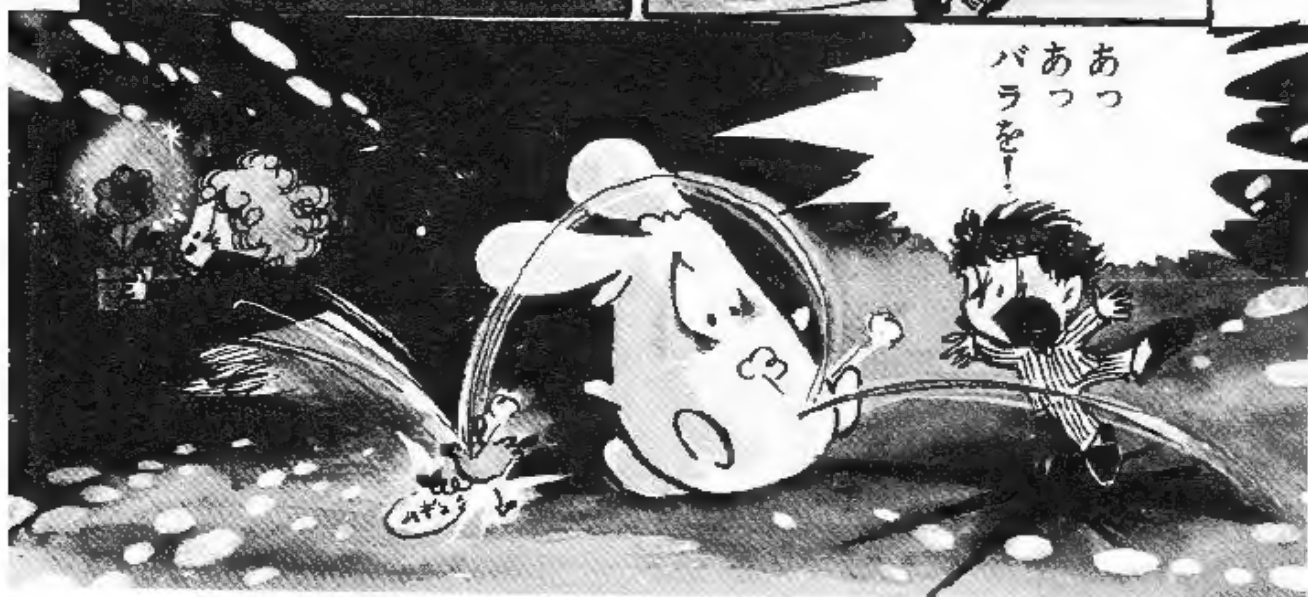
カゼの
ヒールス
みたいなのや
まあ そんな
とこね

あんまり
だけ

いっしょに
ねかせて

カン

かみつく
なよ







きれいな
おはな
ねえ



プレゼント
だって!

そうなの

こ...これ
黒いマント
着た子が
くれたん
だって

ぼく
の
バラ!

「とってもしあわせモトちゃん」

番外編

だれかこんな子を見つけたら どーぞ
赤いバラをあげてください……



あいつ
かわい
女の子に
弱かっ
たんだな

でも
おなか
すかして
どこいった
んだろ

かわい
そうに

ポ—の一族—完—